

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構運営委員会（第64回）議事要旨

- 1 日 時 令和4年9月27日（火）10：31 ～ 11：42
- 2 場 所 WEB会議
- 3 出席者 石井、磯部、井田、川嶋、岸本、蔵川、小林、渋井、杉山、高橋（哲）、土屋、中野、新田、光田、宮崎、森、吉川の各運営委員
（金子、高橋（真）、山本の各運営委員は委任状提出）
光石理事、小笠原監事、柴監事、丸山審議役、
小野寺管理部長、吉田評価事業部長、上原大学連携・支援部長、高比良調査役、
ほか機構関係者

4 運営委員会（第63回）議事要旨について

令和4年3月22日に開催された運営委員会（第63回）議事要旨（案）が確認され、確定版として了承された。

5 議 事

《審議事項》

（1）名誉教授の称号の授与について

名誉教授の称号の授与について審議が行われ、原案どおり承認された。

なお、本件は評議員会に諮ることとされた。また、今後修正の必要が生じた場合は、機構長に一任することとされた。主な意見は以下のとおり。

（○：運営委員、●：事務局、以下同じ）

- 名誉教授に与えられるベネフィットはあるか。
- 現状では特に設けていない。

（2）客員教員の選考について

客員教員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

《報告事項》

（1）各種委員会委員等の選考について

①学位審査会専門委員、②大学機関別認証評価委員会委員、専門委員、③高等専門学校機関別認証評価委員会専門委員、④法科大学院認証評価委員会委員、⑤国立大学教育研究評価委員会専門委員の選考について、会長一任による追加発令があったことの報告があった。

（2）調査研究について

令和3年度及び令和4年度の調査研究の状況等について報告があった。主な意見は以下のとおり。

- 今回は報告事項にとどまっているが、今後は審議事項とするのか。
- 令和5年度の調査研究計画について、次回の運営委員会にてご審議いただく予定としている。
- 各プロジェクトの評価体制について教えてほしい。
- 各プロジェクトに対する組織的な評価体制は整備していないが、調査研究全体に対する評価としては、毎年度の業務実績報告書の作成をもって自己点検・評価としていることに加え、文部科学省の有識者会合による独立行政法人評価をもって外部評価を受けていると認識している。
- 文部科学省による評価の前に第三者評価を受けた方が、機構の事業の実施状況の評価がより精緻なものになるのではないかと。
- 資源的に十分でないこともあり、運営委員会に外部的なチェックの役割を担っていただくことになると想定しているが、今後については検討したい。
- 大学の場合、金額の大きいプロジェクトは特に厳しい評価が行われる。教員評価に加え、各プロジェクトに対する評価、特に機構長裁量経費によるプロジェクトに対する評価は重点的に行った方がよい。
- 機構長裁量経費によるプロジェクトについて、昨年度末に機構長及び一部の研究開発部教員によるヒアリングを実施した。今年度も少なくとも昨年度と同程度のチェックは実施する予定である。
- 機構長裁量経費の申請から採択までの流れを教えてほしい。
- 機構内のプロセスを経た後、最終的には機構長が判断している。

(3) その他

機構全体における令和3年度の業務実績及び令和4年度の事業の進捗状況について報告があった。

6 その他

今回の運営委員会については、後日事務局より連絡することとされた。

以上